

DIC株式会社

2021年度第3四半期決算 説明資料

2021年11月



Color & Comfort

ハイライト

3 Q の振り返り

- 売上高は、増収。C&E顔料事業（旧ドイツBASF社のColors & Effects顔料事業、以下C&E）の業績が2021年7月から連結対象となっている。活発なデジタル関連需要を背景に、高付加価値製品である半導体、電気・電子向け材料などの出荷が引き続き好調に推移。また、食品包装分野が引き続き堅調であったほか、化粧品用顔料の出荷も回復基調となった。一方で、自動車向け材料については、地域・品目によって半導体不足やロックダウンによる自動車減産の影響が見られた
- 営業利益は、増益。当第3四半期（7-9月）には、原料コストや物流コスト増加の影響が一層強まったが、高付加価値製品を中心に出荷を伸ばしたことに加え、価格対応に取り組むことでコスト増加影響の低減に努めた。しかしながら、C&Eの統合に伴う一時的な費用（棚卸資産ステップアップ※）を計上したことにより、増益幅は縮小した

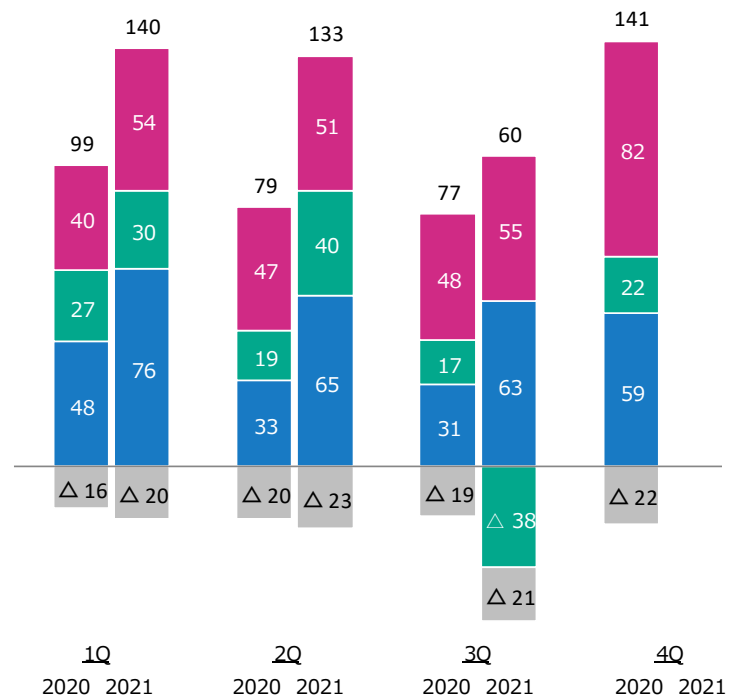
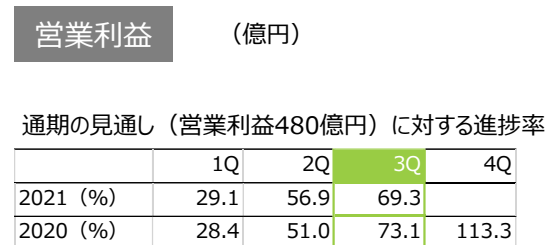
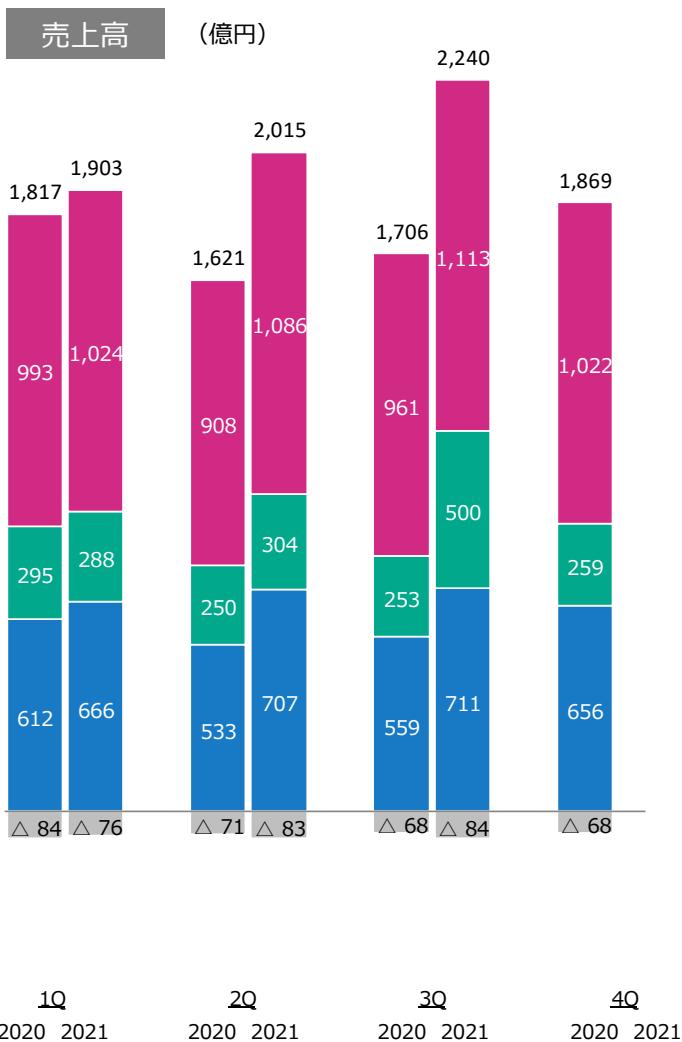
（※買収時に取得した棚卸資産を時価評価すること。出荷時に売上原価の増加となる）

通期の見通し

- 売上高を8,600億円に上方修正。価格対応が進んだことにより売上高が増加する見通し。営業利益は480億円の見通しに変更なし
- 年間配当は100円の計画に変更なし

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。当第3四半期は、2021年1月1日から9月30日までの9ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

セグメント別四半期業績推移



■ パッケージング&グラフィック
 ■ カラー&ディスプレイ
 ■ ファンクショナルプロダクツ
 ■ その他、全社・消去

※各グラフの上の数値は、「その他、全社・消去」等のマイナス値を含めた連結合計の数値であるため、各グラフの高さとは一致しません

(億円)	2020 3Q	2021 3Q	増減比	現地通貨 ベース 増減比
売上高	5,143	6,158	+ 19.7%	+ 16.5%
(C&E除く)	(5,143)	(5,958)	(+ 15.8%)	—
営業利益	256	333	+ 30.0%	+ 27.5%
(C&E除く)	(256)	(396)	(+ 55.0%)	—
営業利益率	5.0%	5.4%	—	—
経常利益	230	339	+ 47.6%	—
純利益*	139	153	+ 9.9%	—
1株当たり純利益 (円)	146.99	161.48	—	—
EBITDA**	436	513	+ 17.5%	—
平均レート	USD/円	107.16	108.50	+ 1.3%
	EUR/円	120.49	129.68	+ 7.6%

* 親会社株主に帰属する四半期純利益

**EBITDA：親会社株主に帰属する四半期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

連結損益計算書

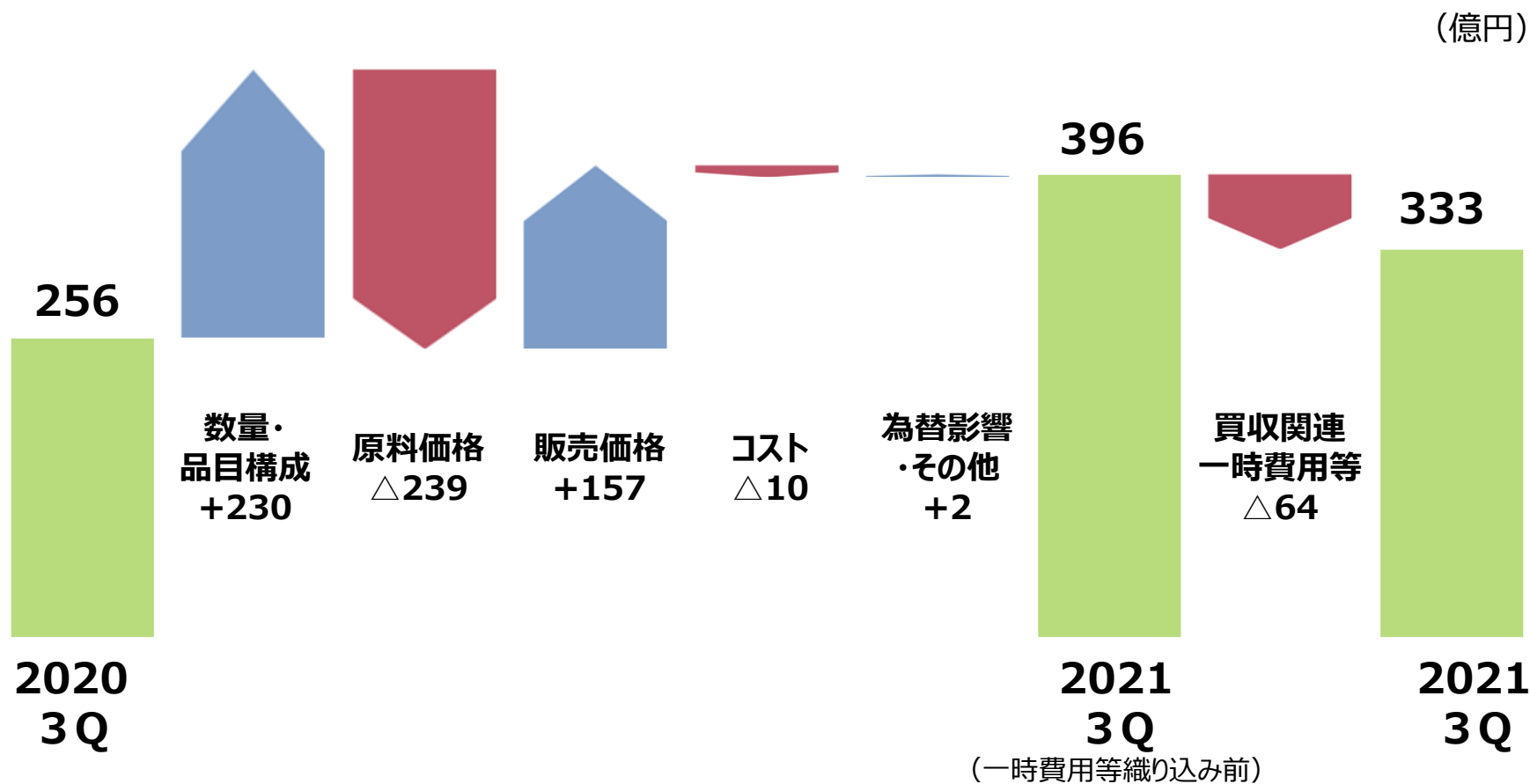
(億円)	2020 3Q	2021 3Q	増 減
売上高	5,143	6,158	1,015
売上原価	△ 4,005	△ 4,826	△ 821
販売費及び一般管理費	△ 882	△ 1,000	△ 118
営業利益	256	333	77
金融収支	△ 7	△ 6	1
持分法投資損益	2	17	15
為替差損益	△ 9	5	14
その他	△ 11	△ 9	2
経常利益	230	339	109
特別利益	30	11	△ 19
特別損失	△ 55	△ 100	△ 45
税前利益	205	250	45
法人税等	△ 49	△ 81	△ 32
四半期純利益	156	169	13
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 17	△ 16	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	139	153	14
平均レート USD/円	107.16	108.50	
EUR/円	120.49	129.68	

特別損益の内訳	2020 3Q	2021 3Q
特別利益		
関係会社株式及び出資金売却益	-	8
固定資産売却益	17	3
負ののれん発生益	13	-
特別損失		
買収関連費用*	△ 34	△ 64
固定資産処分損	△ 14	△ 19
減損損失	-	△ 13
リストラ関連退職損失	△ 8	△ 4

*C&E買収関連

営業利益増減要因

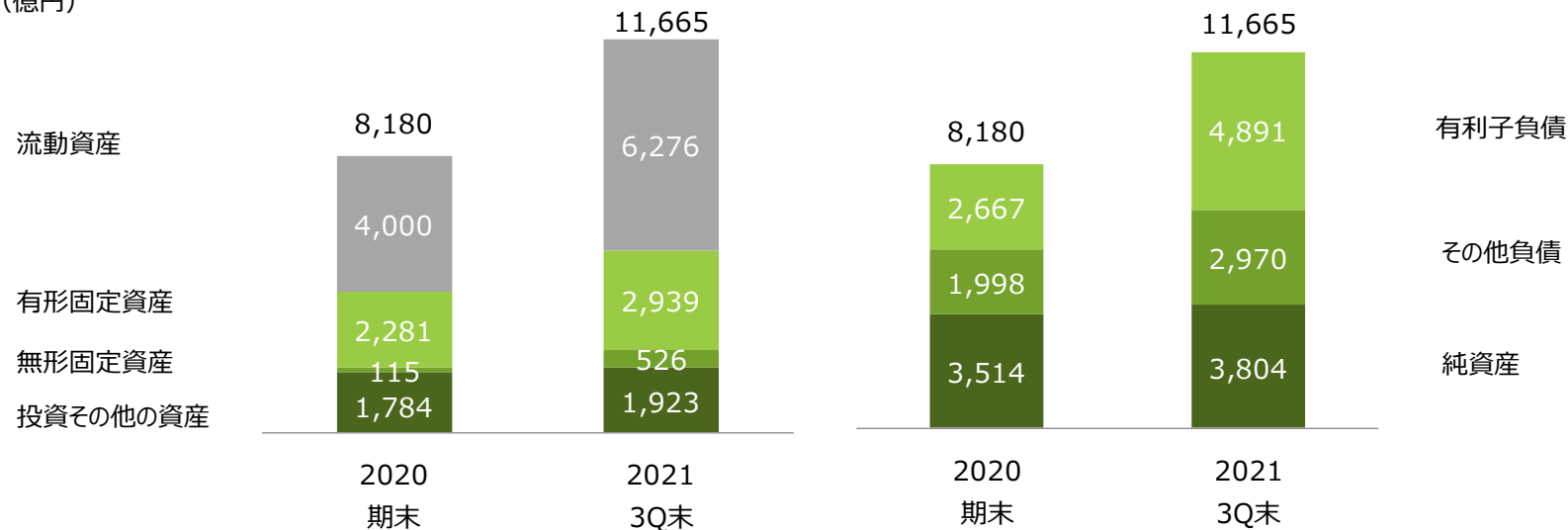
- 出荷数量の増加に加えて、高付加価値製品の好調な出荷により品目構成が改善
- 全地域で原料コストが急激に増加しているが、価格対応を進めている
- 買収関連一時費用を含むC&Eの営業利益は△64億円。DICとの統合時に設けたブラックアウト期間により通常よりも売上高が大幅に減少したことに加え、輸出業務に遅れが生じ、3Q（7-9月）の出荷は伸び悩んだ



財務体質

バランスシート

(億円)



財務体質

(億円)	2020 期末	2021 3Q末	増減
有利子負債	2,667	4,891	2,224
ネット有利子負債	2,219	3,273	1,055
純資産	3,514	3,804	290
D/クレシオ *	43.2%	56.3%	
ネットD/クレシオ **	38.7%	46.3%	
自己資本比率	38.9%	29.7%	
1株当たり純資産 (円)	3,364.92	3,659.39	
期末レート USD/円	103.14	111.86	

! C&E買収のため増加

※劣後ローン調整後の2021年3Q末のD/クレシオ 52.8%
 ※劣後ローン調整後の2021年3Q末のネットD/クレシオ 42.0%

* D/クレシオ : 有利子負債 / (有利子負債 + 純資産)

** ネットD/クレシオ : ネット有利子負債 / (ネット有利子負債 + 純資産)

セグメント別業績

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2020 3Q	2021 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020 3Q	2021 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020 3Q	2021 3Q
パッケージング & グラフィック	2,862	3,224	362	+ 12.6%	+ 9.5%	135	161	25	+ 18.5%	+ 16.9%	4.7%	5.0%
日本	753	844	91	+ 12.1%	+ 12.1%	34	37	4	+ 10.8%	+ 10.8%	4.5%	4.4%
米州・欧州	1,741	1,948	207	+ 11.9%	+ 8.3%	73	101	28	+ 38.0%	+ 34.9%	4.2%	5.2%
アジア他	446	532	86	+ 19.2%	+ 12.8%	31	25	△ 5	△ 17.7%	△ 21.0%	6.9%	4.8%
連結調整	△ 78	△ 100	△ 22	-	-	△ 2	△ 3	△ 1	-	-	-	-
カラー & ディスプレイ	799	1,091	293	+ 36.6%	+ 32.5%	63	32	△ 31	△ 49.7%	△ 46.5%	7.9%	2.9%
日本	204	234	29	+ 14.4%	+ 14.4%	40	51	10	+ 25.7%	+ 25.7%	19.8%	21.7%
海外	651	936	285	+ 43.7%	+ 38.3%	22	△ 19	△ 42	赤字化	赤字化	3.4%	-
連結調整	△ 57	△ 78	△ 22	-	-	0	0	0	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクト	1,704	2,085	381	+ 22.4%	+ 19.7%	112	204	92	+ 81.7%	+ 77.7%	6.6%	9.8%
日本	1,280	1,478	198	+ 15.5%	+ 15.5%	56	127	71	+ 128.5%	+ 128.5%	4.3%	8.6%
海外	574	802	228	+ 39.7%	+ 31.6%	57	78	21	+ 37.8%	+ 29.6%	9.9%	9.7%
連結調整	△ 149	△ 194	△ 45	-	-	0	△ 0	△ 1	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 222	△ 242	△ 20	-	-	△ 55	△ 64	△ 9	-	-	-	-
連結合計	5,143	6,158	1,015	+ 19.7%	+ 16.5%	256	333	77	+ 30.0%	+ 27.5%	5.0%	5.4%
USD/円	107.16	108.50		+ 1.3%		107.16	108.50		+ 1.3%			
EUR/円	120.49	129.68		+ 7.6%		120.49	129.68		+ 7.6%			

※C&Eの業績はカラー & ディスプレイ セグメントに含まれている

パッケージング&グラフィック

売上高

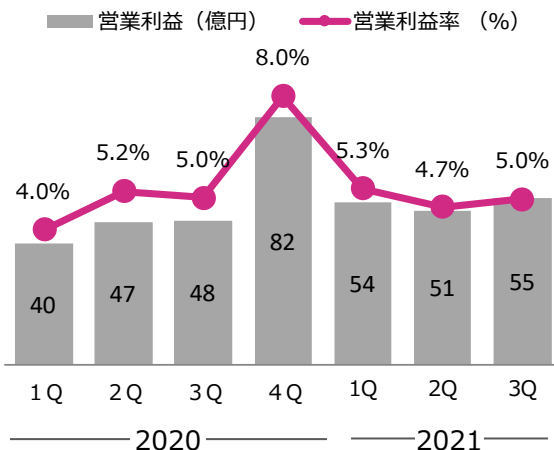
- 日本では緊急事態宣言下にあるなか、パッケージ用インキについては昨年よりも影響は限定的となり増収
- 米州・欧州ではパッケージ用インキの出荷が堅調に推移

営業利益

- 原料コストの急激な増加を受け各地域で価格対応を行ない、全体としては利益率を維持。アジア地域では行動制限により価格改定交渉に遅れが生じており、価格改定効果の発現は4Q（10-12月）になる見込み

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2020 3Q	2021 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020 3Q	2021 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020 3Q	2021 3Q
パッケージング&グラフィック	2,862	3,224	362	+ 12.6%	+ 9.5%	135	161	25	+ 18.5%	+ 16.9%	4.7%	5.0%
日本	753	844	91	+ 12.1%	+ 12.1%	34	37	4	+ 10.8%	+ 10.8%	4.5%	4.4%
米州・欧州	1,741	1,948	207	+ 11.9%	+ 8.3%	73	101	28	+ 38.0%	+ 34.9%	4.2%	5.2%
アジア他	446	532	86	+ 19.2%	+ 12.8%	31	25	△ 5	△ 17.7%	△ 21.0%	6.9%	4.8%
連結調整	△ 78	△ 100	△ 22	-	-	△ 2	△ 3	△ 1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品	増減比	説明
パッケージ用インキ*	+ 7%	米州・欧州で堅調な出荷
出版用インキ*	+ 14%	安定供給を背景に北米・欧州でシェアを増やし出荷増
ジェットインキ	+ 37%	屋外広告（看板・ポスター）やバナーなどの産業用およびダイレクトメールなどの商業印刷用の需要回復により出荷好調
ポリスチレン	+ 40%	スーパー等での食品包装用途が好調であることに加え、価格改定による単価上昇により大幅な増収
多層フィルム	+ 0%	コロナ影響で家庭向け食品需要の高まりがあった前年と同程度の出荷

*現地通貨ベース増減比

カラー&ディスプレイ

売上高

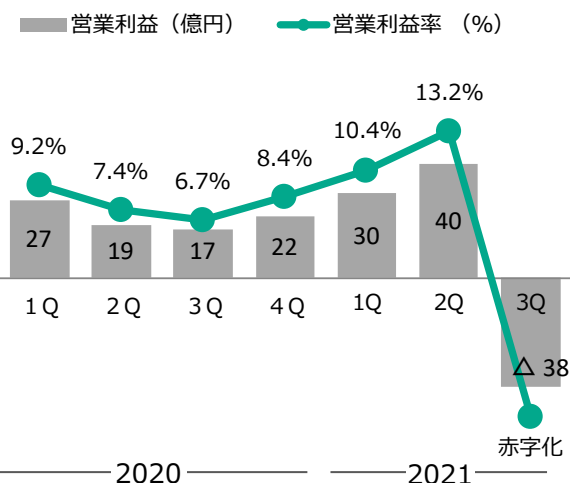
- 塗料・プラスチック用顔料の出荷が堅調。カラーフィルタ用顔料や、スペシャリティ用途が中心となる光輝材は引き続き好調な出荷となった
- 中国ローカルメーカーとの競争激しく、TFT液晶は減収

営業利益

- C&E買収関連の一時費用（棚卸資産ステップアップ）の計上により減益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2020 3Q	2021 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020 3Q	2021 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020 3Q	2021 3Q
カラー&ディスプレイ	799	1,091	293	+ 36.6%	+ 32.5%	63	32	△ 31	△49.7%	△46.5%	7.9%	2.9%
日本	204	234	29	+ 14.4%	+ 14.4%	40	51	10	+ 25.7%	+ 25.7%	19.8%	21.7%
海外	651	936	285	+ 43.7%	+ 38.3%	22	△ 19	△ 42	赤字化	赤字化	3.4%	-
連結調整	△ 57	△ 78	△ 22	-	-	0	0	0	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品	増減比	説明
一般顔料	+ 42%	C&E買収により、塗料・プラスチック用顔料の売上高が大幅に増加
機能性顔料	+ 30%	カラーフィルタ用顔料は好調な出荷が継続。光輝材を中心とするスペシャリティ用顔料、化粧品用顔料はC&E買収により売上高が大幅に増加
液晶	△22%	中国ローカルメーカーとの競争激しく、減収
ヘルスケア食品	+ 18%	欧米での出荷が好調

カラー&ディスプレイ 補足資料

カラー&ディスプレイ 3Q業績内訳 (億円)

	売上高				営業利益			
	2020	2021 3Q	増減	増減比	2020	2021 3Q	増減	増減比
カラー&ディスプレイ	799	1,091	293	+36.6%	63	32	△31	△49.7%
既存事業	856	955	99	-	63	95	32	-
C&E	-	201	201	-	-	△22	△22	-
一時費用	-	-	-	-	-	△42	△42	-
連結調整	△57	△64	△8	-	0	0	0	-

- DICとの統合時に設けたブラックアウト期間によりC&Eの売上高が通常よりも大幅に減少したことに加え、輸出業務に遅れが生じ、3Q（7-9月）の出荷は伸び悩んだ
- 半導体不足による自動車減産影響により自動車塗料用顔料の需要に減少傾向があるものの、建築・工業塗料用顔料およびプラスチック用顔料の需要は非常に旺盛で受注残を抱えている状況。輸出業務の停滞が解消されれば出荷は当初計画の水準まで戻ると見込んでいる
- 一時費用として棚卸資産ステップアップによる売上原価の増加が42億円発生。棚卸資産のステップアップの費用化は3Qでほぼ終了した

ファンクショナルプロダクツ

売上高

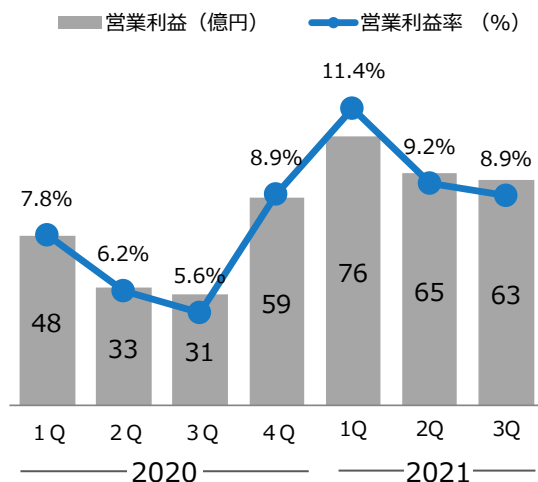
- アジアでは自動車減産影響を受けた出荷の減速があったが、日本での影響は限定的で自動車やエレクトロニクス関連を中心に好調な出荷が継続

営業利益

- 全地域で原料コスト増加の影響が出ているものの、価格対応を進め利益率の低下は小幅に留まった。エポキシ樹脂など高付加価値製品の好調な出荷により大幅な増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2020 3Q	2021 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020 3Q	2021 3Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020 3Q	2021 3Q
ファンクショナルプロダクツ	1,704	2,085	381	+ 22.4%	+ 19.7%	112	204	92	+ 81.7%	+ 77.7%	6.6%	9.8%
日本	1,280	1,478	198	+ 15.5%	+ 15.5%	56	127	71	+ 128.5%	+ 128.5%	4.3%	8.6%
海外	574	802	228	+ 39.7%	+ 31.6%	57	78	21	+ 37.8%	+ 29.6%	9.9%	9.7%
連結調整	△ 149	△ 194	△ 45	-	-	0	△ 0	△ 1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品名	増減比	説明
サステナブル樹脂*	+ 25%	アジアで自動車減産影響が見られたが、日本では堅調な需要が続いている
エポキシ樹脂	+ 24%	電子機器向けが好調
PPSコンパウンド	+ 37%	半導体不足の影響が懸念されるなか、堅調な出荷
工業用テープ	+ 30%	スマートフォンなどのモバイル機器向けの出荷が好調
中空糸膜モジュール	+ 41%	半導体製造用途の出荷が好調


*環境対応と機能性を高めることを目指した樹脂戦略製品の総称で、水性、UV硬化型、ポリエステル、アクリル、ウレタン樹脂が含まれる

連結貸借対照表

(億円)	2020 期末	2021 3Q末	増 減
流動資産	4,000	6,276	2,276
有形固定資産	2,281	2,939	659
無形固定資産	115	526	411
投資その他の資産	1,784	1,923	139
資産合計	8,180	11,665	3,485
流動負債	1,972	3,853	1,882
固定負債	2,694	4,008	1,313
負債合計	4,666	7,861	3,195
株主資本	4,090	4,148	58
その他の包括利益累計額	△ 905	△ 684	221
(為替換算調整勘定)	(△ 823)	(△ 599)	(224)
非支配株主持分	329	340	11
純資産合計	3,514	3,804	290
負債純資産合計	8,180	11,665	3,485
期末レート USD/円	103.14	111.86	
自己資本比率	38.9%	29.7%	
有利子負債残高	2,667	4,891	2,224
現預金残高	449	1,618	1,169

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)	2020 3Q	2021 3Q	増 減
営業キャッシュ・フロー	430	483	53
投資キャッシュ・フロー	△ 292	△ 1,395	△ 1,103
財務キャッシュ・フロー	757	2,070	1,313
現金及び現金同等物の期末残高	1,047	1,613	566
フリーキャッシュ・フロー	138	△ 912	△ 1,050
運転資本の増減額	91	△ 27	△ 118
設備投資・投融資	267	1,553	1,286
減価償却費	240	270	29

 C&E取得のための支出

注) 連結キャッシュ・フロー計算書は、レビュー対象外のため参考情報です。

2021年度：通期の業績見通し【8月10日公表値から修正あり】

(億円)	2020	2021 見通し	増減比	現地通貨 ベース 増減比
売上高	7,012	8,600	+ 22.6%	+ 18.9%
営業利益	397	480	+ 21.0%	+ 18.8%
営業利益率	5.7%	5.6%	—	—
経常利益	365	475	+ 30.3%	—
純利益*	132	220	+ 66.3%	—
1株当たり純利益(円)	139.81	232.42	—	—
EBITDA**	556	730	+ 31.3%	—
設備投資・投融資	371	1,720	+ 363.5%	
減価償却費	326	380	+ 16.6%	
平均レート				
USD/円	106.37	109.00	+ 2.5%	
EUR/円	121.43	131.00	+ 7.9%	
ROE	4.2%	6.6%		
D/CLレシオ***	43.2%	49.5%		※劣後ローン調整後の2021年末のD/CLレシオ 45.5%
年間配当/株(円)	100.0	100.0		
配当性向	71.5%	43.0%		

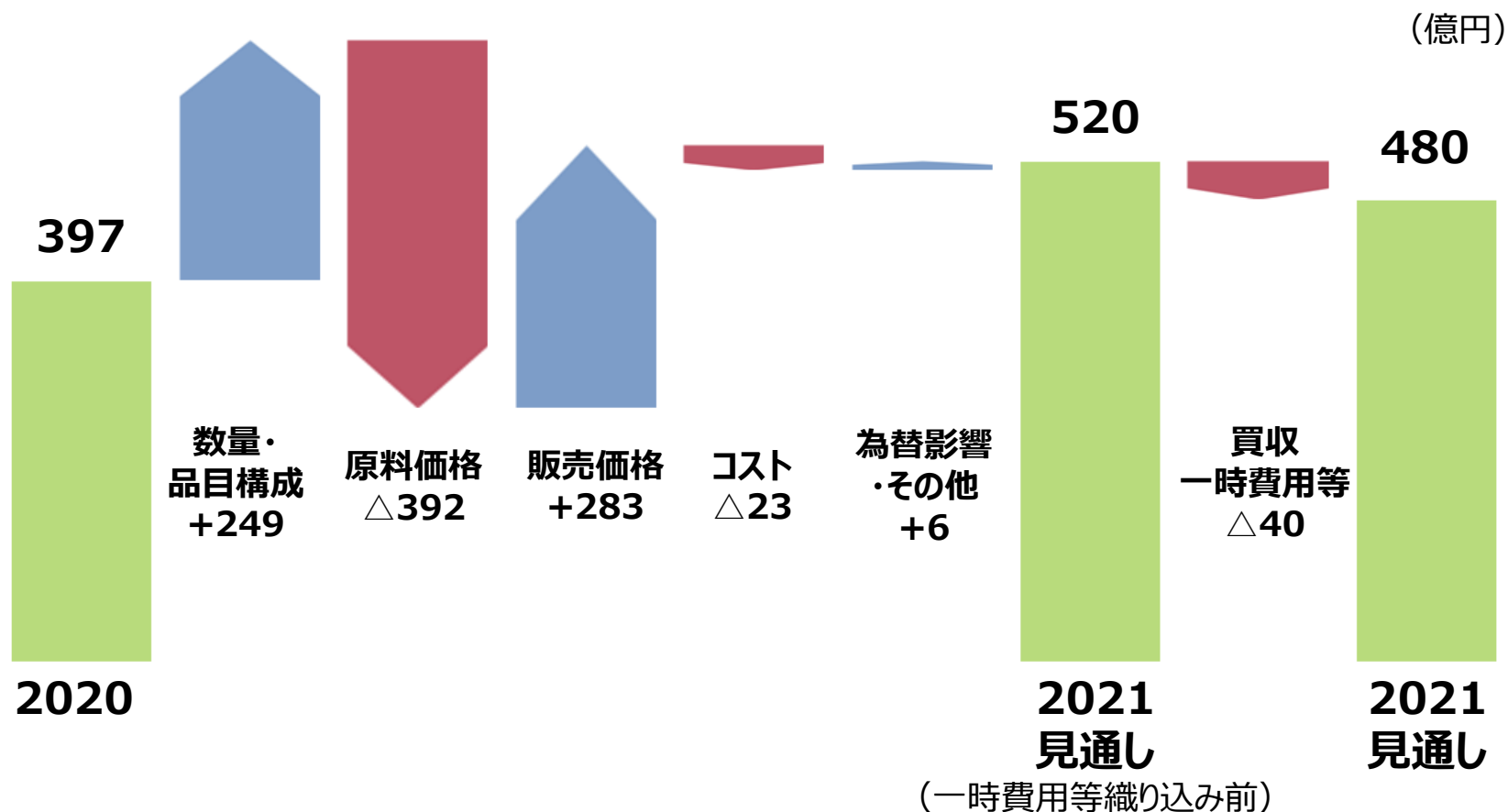
* 親会社株主に帰属する当期純利益

** EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

***D/CLレシオ：有利子負債／（有利子負債＋純資産）

営業利益増減要因

- 全地域で価格対応が進んだことにより、売上高の見通しを上方修正
- C&Eの見通しについては、半導体不足による自動車減産影響により自動車塗料用顔料の需要に減少傾向があるものの、建築・工業塗料用顔料およびプラスチック用顔料の需要は非常に旺盛で受注残を抱えている状況。輸出業務の停滞が解消されれば利益は当初計画の水準まで戻ると見込んでいる



2021年度：通期のセグメント別業績見通し【8月10日公表値から修正あり】

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2020	2021 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020	2021 見通し	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2020	2021 見通し
パッケージング&グラフィック	3,884	4,402	518	+ 13.3%	+ 9.1%	218	217	△ 1	△ 0.3%	△ 3.3%	5.6%	4.9%
日本	1,023	1,144	121	+ 11.8%	+ 11.8%	53	52	△ 1	△ 1.0%	△ 1.0%	5.2%	4.6%
米州・欧州	2,354	2,666	312	+ 13.2%	+ 7.8%	122	128	7	+ 5.3%	+ 1.3%	5.2%	4.8%
アジア他	620	724	104	+ 16.7%	+ 10.2%	44	40	△ 5	△ 10.3%	△ 14.7%	7.1%	5.5%
連結調整	△ 114	△ 132	△ 18	-	-	△ 1	△ 4	△ 2	-	-	-	-
カラー&ディスプレイ	1,058	1,722	664	+ 62.8%	+ 58.4%	84	84	△ 1	△ 1.1%	+ 4.0%	8.0%	4.8%
日本	279	329	50	+ 17.8%	+ 17.8%	56	68	12	+ 20.8%	+ 20.8%	20.0%	20.5%
海外	852	1,508	656	+ 76.9%	+ 71.0%	28	16	△ 12	△ 43.9%	△ 26.9%	3.3%	1.1%
連結調整	△ 74	△ 115	△ 41	-	-	0	0	△ 0	-	-	-	-
ファンクショナルプロダクツ	2,360	2,809	449	+ 19.0%	+ 16.7%	171	264	93	+ 54.2%	+ 51.7%	7.2%	9.4%
日本	1,761	1,981	220	+ 12.5%	+ 12.5%	83	164	81	+ 96.7%	+ 96.7%	4.7%	8.3%
海外	809	1,061	252	+ 31.2%	+ 24.4%	87	100	13	+ 14.5%	+ 9.1%	10.8%	9.4%
連結調整	△ 210	△ 233	△ 23	-	-	1	0	△ 0	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 290	△ 333	△ 43	-	-	△ 76	△ 84	△ 8	-	-	-	-
連結合計	7,012	8,600	1,588	+ 22.6%	+ 18.9%	397	480	83	+ 21.0%	+ 18.8%	5.7%	5.6%
USD/円	106.37	109.00		+ 2.5%		106.37	109.00		+ 2.5%			
EUR/円	121.43	131.00		+ 7.9%		121.43	131.00		+ 7.9%			

※C&Eの業績はカラー&ディスプレイセグメントに含まれている

2021年度：通期のセグメント別業績見通し補足

カラー & ディスプレイ通期業績見通し内訳（億円）

	売上高				営業利益			
	2020	2021 見通し	増減	増減比	2020	2021 見通し	増減	増減比
カラー & ディスプレイ	1,058	1,722	664	+62.8%	84	84	△1	△1.1%
既存事業	1,132	1,252	120	-	84	124	39	-
C&E	-	550	550	-	-	2	2	-
一時費用	-	-	-	-	-	△42	△42	-
連結調整	△74	△80	△6	-	0	0	△0	-

- 下期からの6か月分のC&E業績を通期見通しのカラー & ディスプレイセグメントに織り込んでいる
- C&Eの下期売上高見通しを550億円、のれん等の償却を含む営業利益見通しを2億円に修正した。DICとの統合時のブラックアウト期間に備えた前倒し需要が上期に発生したこと、顔料事業は季節要因により上期に売上と利益が偏る傾向があることから下期の営業利益が抑えられており、本格的な利益貢献は2022年度からを計画している
- 一時費用として棚卸資産ステップアップによる売上原価の増加が42億円発生。2021年度中に費用化完了予定のため、来期以降は発生しない

主なトピックス (2021年7月～9月)

7月 企業情報を紹介する統合報告書『DICレポート2021』を発行



経営戦略などの財務情報と非財務情報を記載した『DICレポート』を
 統合報告書として発行しています
 サステナブルな取り組みの詳細なデータを掲載したPDF版がウェブサイトから
 ダウンロードできますのでご利用ください

HOME> サステナビリティ> DICレポート (統合報告書)
<https://www.dic-global.com/ja/csr/annual/>



7月 D I C、セーレン、福井県、新型炭素繊維強化プリプレグシートのサンプル提供を開始

7月 米国デビュー・バイオテクノロジー社と天然由来色素の新合成法に関する共同研究開発を開始

8月 海藻由来DHAオイル「DHA ORIGINS™-510」取扱い開始

8月 国内初、裏刷りバイオマスグラビアインキ「フィナート® B M」が
 国際認証「OK compost INDUSTRIAL」、「OK compost HOME」を取得

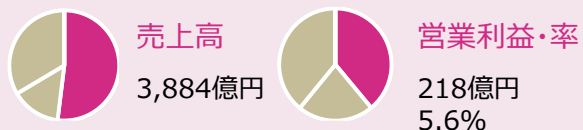
ニュースリリース
<https://www.dic-global.com/ja/news/2021/>



事業セグメントと主要製品

提供価値

パッケージング & グラフィック



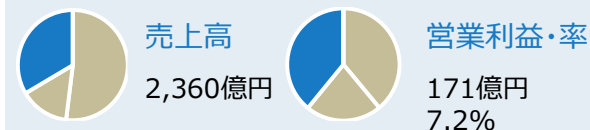
包装材料を通じて社会や暮らしに「安全・安心」を提供する

カラー & ディスプレイ



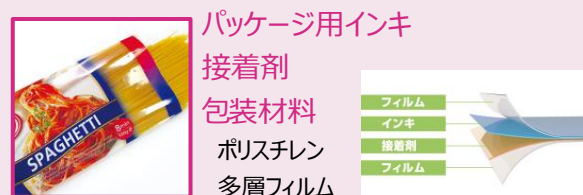
表示材料を通じて社会や暮らしに「彩り」を提供する

ファンクショナルプロダクト

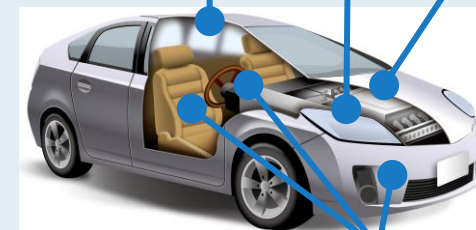
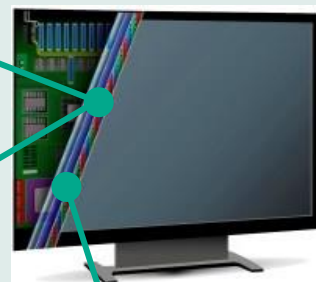
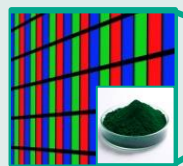


機能材料を通じて社会や暮らしに「快適」を提供する

主要製品

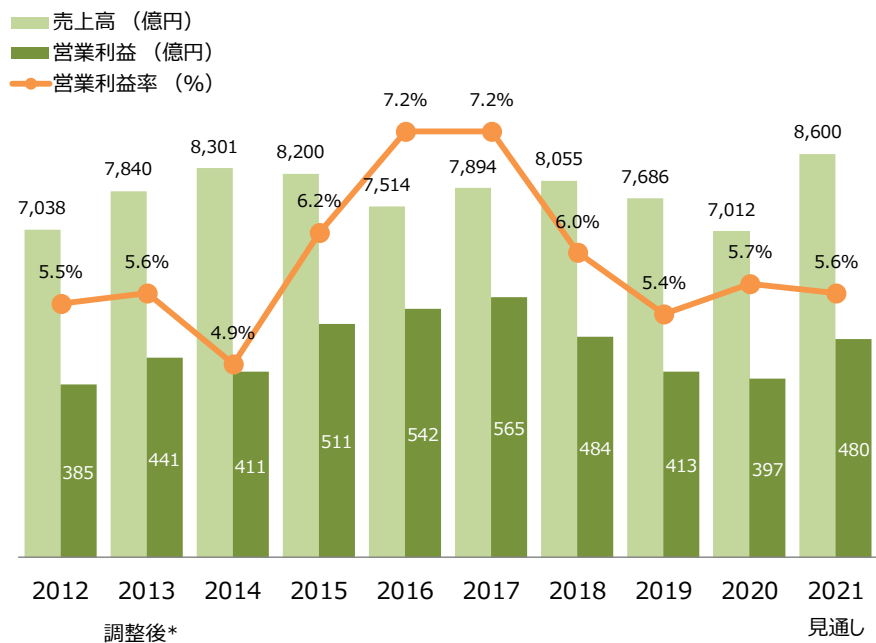


機能性顔料



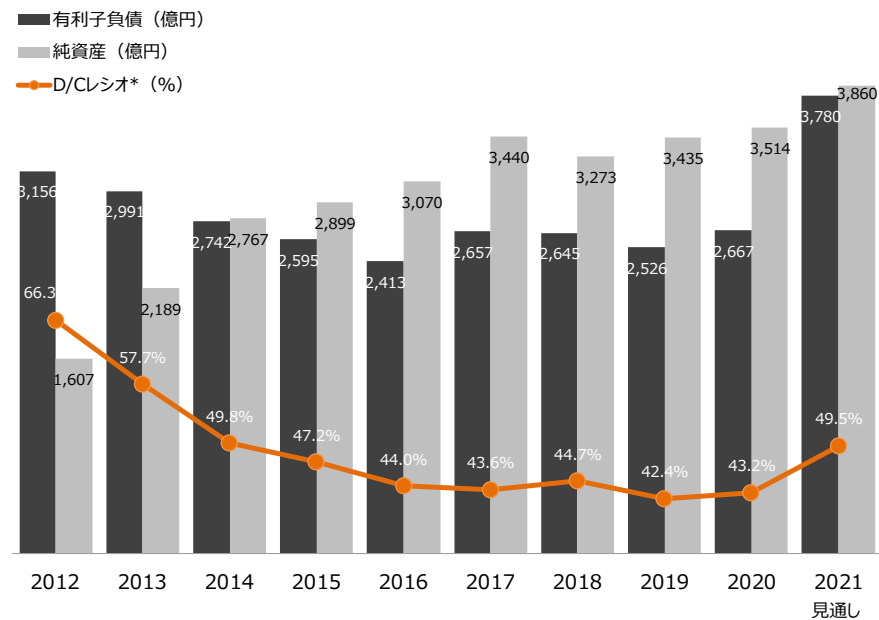
業績の推移 (参考)

業績



*決算期変更の影響を調整しています

財務体質

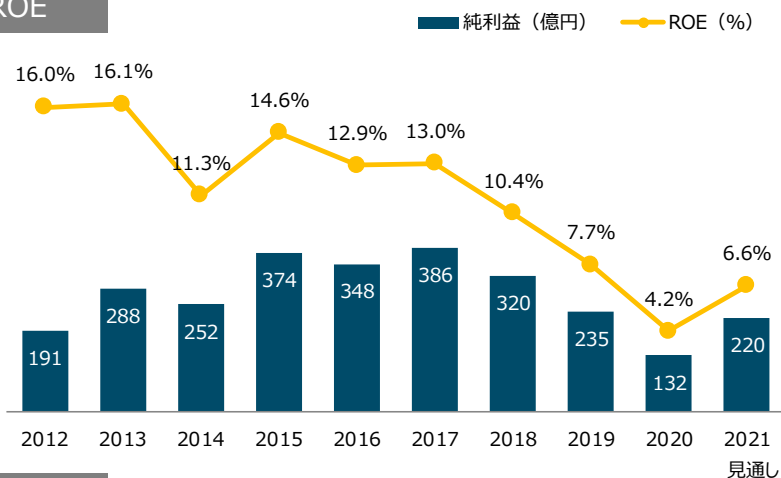


※劣後ローン調整後の
2021年末のD/CLシオ見通し 45.5%

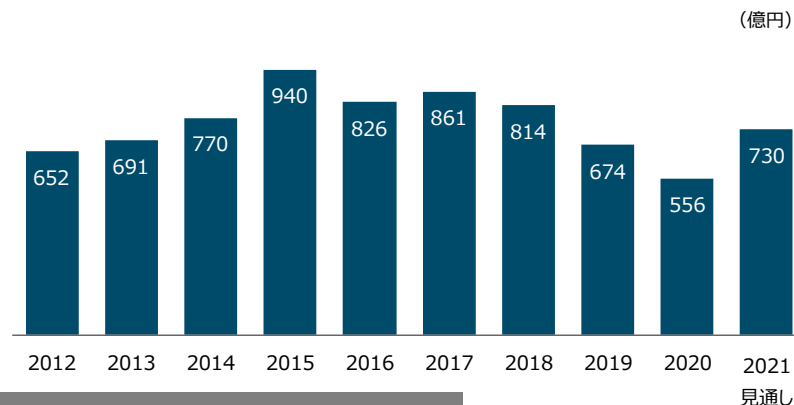
*D/CLシオ：有利子負債 / (有利子負債 + 純資産)

業績の推移 (参考)

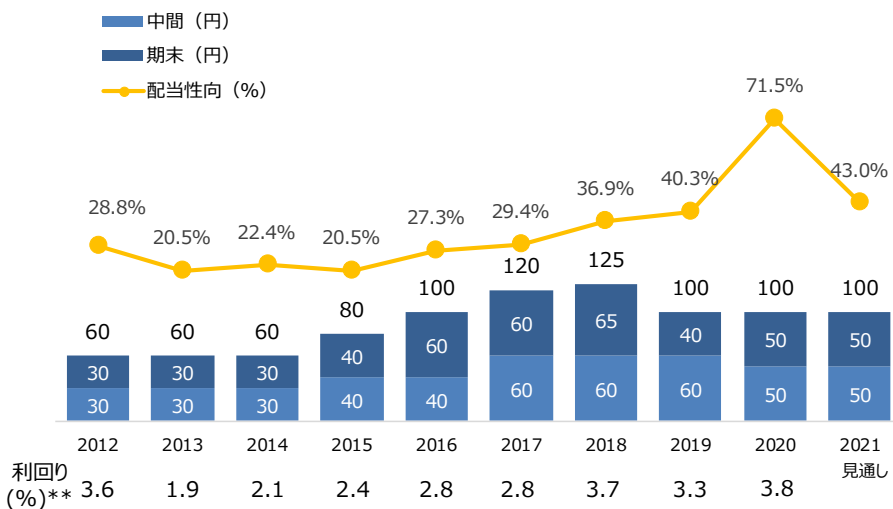
ROE



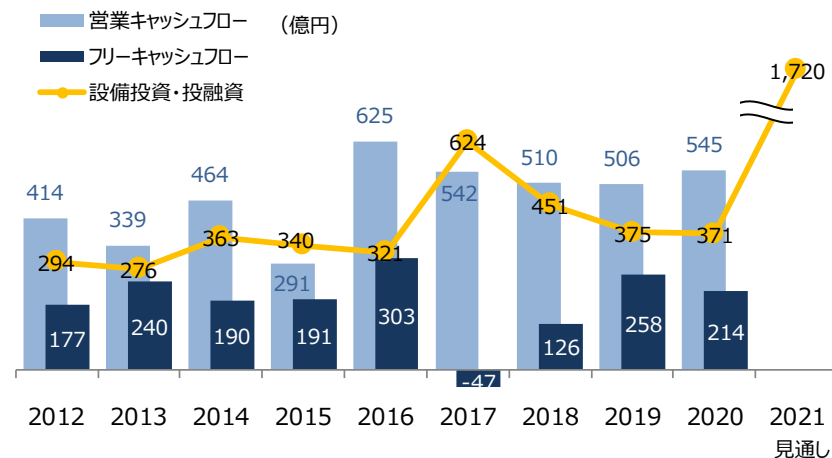
EBITDA***



株主還元*



設備投資・投融資・営業キャッシュフロー



* 株式併合の影響を調整しています

** 配当利回り：年間配当金/期末の株価終値

*** EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

ESGに関する社外評価（参考）

DICが組み入れられているESG投資インデックス



MSCI Japan Empowering
Women Index (WIN)



MSCI Japan ESG
Select Leaders Index



FTSE Blossom
Japan

Member of

**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

**S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数**



Color & Comfort

<予想に関する注意事項>

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。